課題の当事者意識を育む

チェンジメーカー
プロジェクト

京都橘中学校・高等学校
探究学習コーディネーター主任
長谷川　夕起

“

前までは授業の一環として見ていたけど、回を重ねるにつれて**自分もこの会社を盛り上げる一員**という自覚に変わった

アントレプレナーシップ教育に取り組む理由

建学の精神

「力を実業教育に注ぎて、将来自営独立の実力を得しめん」

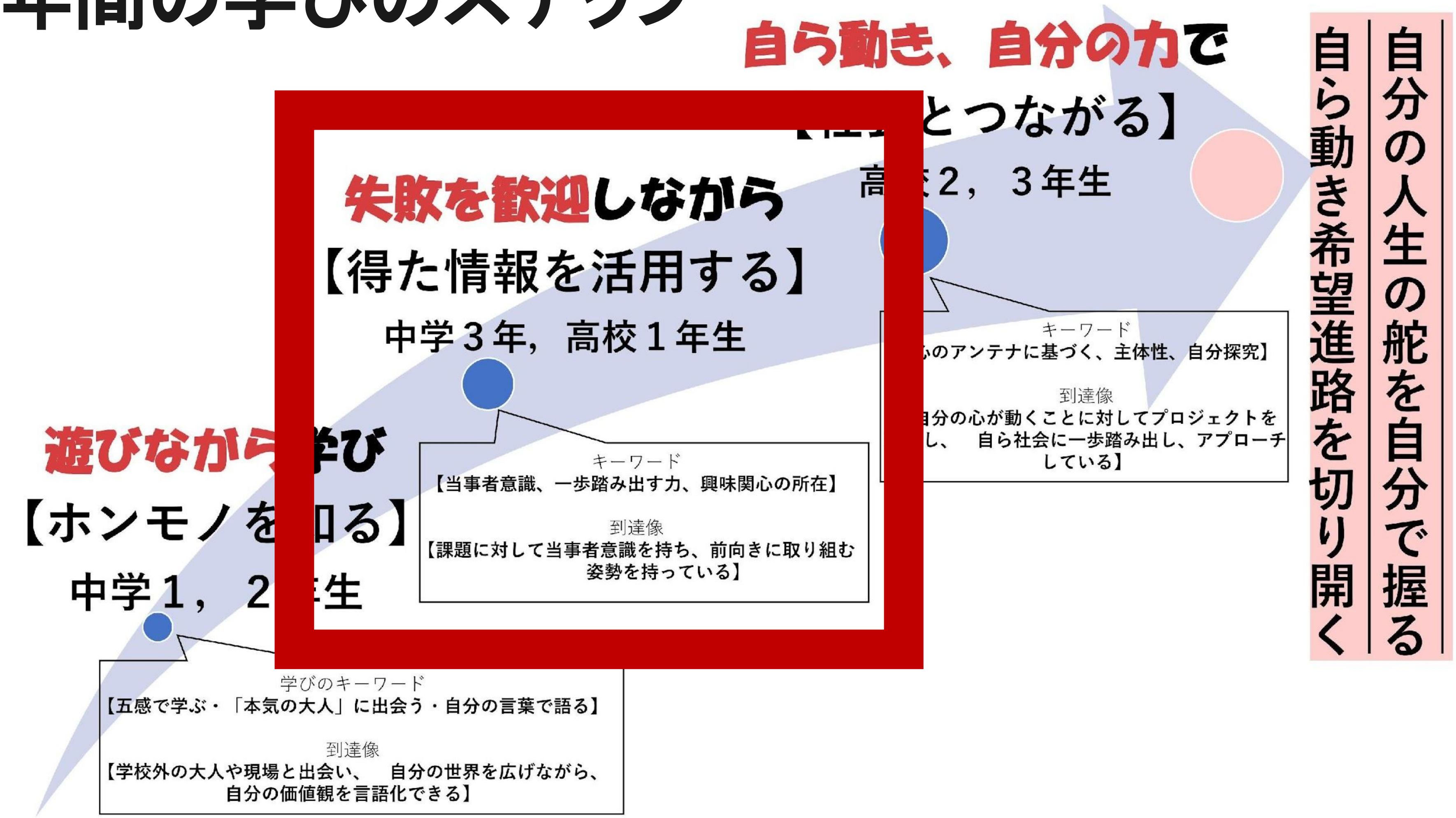
教育理念

「自立　共生」

起業家育成

当事者意識
自ら動く姿勢

6年間の学びのステップ



チェンジメーカープロジェクトの全体像

事業者内のリア　　　　　　　　　　　　　　、チームで挑むことで、

醸成を狙う

5～6回程度の直接やり取り

良い案は採用・実装

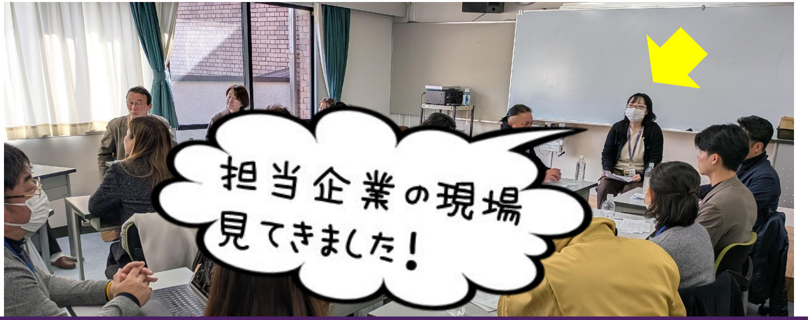
①企業説明会 ⇒ ②企業訪問 ⇒ ③④進捗報告 ⇒ 再構築 ⇒ ⑤最終提案会 ⇒ ⑥お礼PJ（プロジェクト）

本気のフィードバック

参考）2025年度　生徒人数83名・チーム数17・協力事業者11社

壁

1年目	2年目
授業担当者の裁量に任せる	授業担当者拡充により裁量任せにするのは△



教員の当事者意識の醸成・伴走力が向上

生徒の変容（生徒の振り返りより）

> 前までは授業の一環として見ていたけど、
> 回を重ねるにつれて**自分のこの会社を盛り上げる一員**という自覚に変わった

> 初めは、面白そうと楽観的に考えていたけど、だんだん当事者意識も出てきて、**より良くするためにどうすればいいかを途中で諦めたりせずにしっかり考えられるようになった**

“課題を解く側”から“課題の当事者”へ

この取り組みを再現するための3つの条件

❶　学校(担当者)の熱意

❷　外部と学校の接続を担う人

❸　共感･理解する事業者様
（紹介団体様･事業者様含む）

最後に

遊びながら学び

【ホンモノを知る】

中学１，２年生

学びのキーワード
【五感で学ぶ・「本気の大人」に出会う・自分の言葉で語る】

到達像
【学校外の大人や現場と出会い、　自分の世界を広げながら、
自分の価値観を言語化できる】

失敗を歓迎しながら

【得た情報を活用する】

中学３年，高校１年生

キーワード
【当事者意識、一歩踏み出す力、興味関心の所在】

到達像
【課題に対して当事者意識を持ち、前向きに取り組む
姿勢を持っている】

自ら動き、自分の力で

【社会とつながる】

高校２，３年生

キーワード
【心のアンテナに基づく、主体性、自分探究

到達像
【自分の心が動くことに対してプロジェクト
設計し、　自ら社会に一歩踏み出し、アプロー
している】

自分の人生の舵を自分で握る

自ら動き希望進路を切り開く